

和泉市信太丘陵里山自然公園協議会 令和2年度 第1回企画運営会議 議 事 録

開催日時：令和2年12月3日（木）9：30～11：30

場 所：和泉市コミュニティセンター1階中集会室

出席者：令和2年度和泉市信太山丘陵里山自然公園協議会会員

(1) 学識経験者[特別会員A] (50音順、敬称略)

桃山学院大学社会学部 教授	巖 圭介
大阪市立大学大学院工学研究科 教授	内田 敬
大阪府立大学大学院生命環境科学研究科 教授	藤原 宣夫
大阪府立大学 名誉教授	増田 昇

(2) 地元町会・自治会[特別会員B] (50音順、敬称略)

熊田 泰行

(3) その他 全和泉市信太山丘陵保全・活用検討ワークショップ[®] 会員

[特別会員C] (50音順、敬称略)

田丸 八郎

三輪 健一郎

(4) [一般会員] (50音順、敬称略)

森井 豊

(5) 和泉市職員 [市側会員] (機構順)

和泉市環境産業部 環境保全課 課長	前田 淳
同 同 自然環境係長	平田 裕樹
都市デザイン部 都市整備室 道路河川担当 総括主幹	武市 直樹
同 同 同 道路係 主任	奥野 泰史
生涯学習部 文化遺産活用課 課長	森下 徹
同 同 文化遺産活用係長	千葉 太朗
都市デザイン部 都市整備室 公園緑地担当課長	山抱 正嗣

(6) 事務局 和泉市職員 (機構順)

和泉市都市デザイン部 都市整備室 公園緑地担当 総括主幹	横田 伸二
同 同 同 整備係長	岩田 真知
同 同 同 緑化推進係 主任	野間口 知基
同 同 同 整備係 主任	村地 裕士

次 第

1. 開会

(1) 会長挨拶

2. 議事

(1) 報告事項

1) 9月～11月の活動報告

○活動概要報告……………(資料1)

○個別活動報告……………(資料2)

(2) 協議事項

1) 信太5号線に関わる整備計画……………(資料3)

①信太5号線ロードキル対策について

②信太5号線付帯施設について

③既存林を活用した景観形成イメージについて

2) (仮称)環境保全活動PRプログラム(案)……………(資料4)

3. その他

4. 閉会

上記2. 議事(1)報告事項; 1)「9月から11月の活動報告」について、資料1・2に基づき事務局(株式会社ヘッズ)より説明を行った。

また、議事(2)協議事項; 1)信太5号線に関わる整備計画について、①信太5号線ロードキル対策については、資料3-①に基づき事務局(同)より説明を行い、②信太5号線付帯施設については、資料3-②に基づき事務局(和泉市)より、③既存林を活用した景観形成イメージについては、資料3-③に基づき事務局(株式会社ヘッズ)より説明を行った。

協議事項: 2)については、株式会社ヘッズより資料4に基づき事務局(同)より説明を行った。

議事内容

■報告事項

○湿地の定点観測について、活動回数が制限される中で湿地に悪影響は出てないか。

→湿地については、惣ヶ池から誰かが別の種を持ち込んだという話もあることや、我々の長靴等に他の湿地からひっついてきた種が繁殖してきたケースがあることなど、湿性植物の種類も変化している。また、新たに侵入してきた植物は大きく成長している。特にカモノハシ類が大きくなってきている。また、ススキも増えてきている。

このため、今まで湿地の草刈りを冬場にしていたが、ただ刈るだけでなく今年度から余力があれば湿地の一部を攪乱して、除去しなければならない種類もあると考えている。

○今まで、選択的除伐はしてこなかったのか。

→草刈だけである。

○保全活動に関する資料のまとめ方や位置づけについて確認したい。まず、平日も活動を行っていただくことになったので敬意を表したい。しかし、平日の活動が紹介されていないことが残念である。平日も頑張っていることがわかるよう、いつ活動を実施したか報告をいただきたい。

また、平日の活動を対象に保全活動日記を作成いただきたい。

→保全活動日記については、会員の方々に会議の報告や、平日の活動など様子は報告したほうがよいということでしたので、検討しているのが活動日記のなかの紙面で情報をもりこんで拡充するというのを調整している。保全活動ミーティングで意見をもらい検討していく。

○今後、平日活動は今後も定例化する方向で検討しているのか。

→基本的には平日も続けて、継続して月2回予定している

○保全活動日記などの資料はホームページで一般の人に閲覧できるようになっているのか。

また、信太山丘陵に関するホームページはないのか。

→保全活動日記は、和泉市のホームページ、フェイスブックを活用して情報発信している。

信太山丘陵に特化したものはないが、公園緑地担当のホームページの中に信太山丘陵を紹介している。

○信太山丘陵という文字を打ち込むと、ヒットするのか。また、信太山のヒット件数はカウントしているのか。

→検索をかけたらずヒットするがヒット件数までは把握していない。

○ヒット件数は簡単に設定できるの。だいたい月にどれくらい検索されているのか目安になるのでやってみてください。

○将来的には公園として、公園緑地担当のホームページと別のものをつくることになるかと思うが、公園緑地担当のホームページでなく、独立した公園のホームページが必要であると考えられる。お金がかかる話なので慎重に進める必要はあるが、ドメイン名をとってもらい先行的に使うと簡単にアクセスできる。また、市のホームページとのリンクや自動的に飛ぶようにすればよいと思う

○そろそろ暫定開園にむけて情報発信力を高めていくような取組をやってください。予算の関係もあるが、ドメインの取得だけでなく、データのスクリーニングにかかる労力をどうするのが課題となる。

→今後、情報発信を積極的に行っていきたいと考えている。

○アンケートをとられているが、30数名参加していてアンケート回答数が11名であることから%提示よりも実数を表に入れた方がよいと思う。ある一定のサンプル数があれば%提示は良いが、11人のうち何人回答されているのかという実数値の方が良い。%表示は参考資料的でよい。

○環境保全で活動参加者が9月から増えているが、何か事情があるのか。

→参加者は、9月になってもコロナ禍で用心し、あまり活動には出てこないことを予想していたが、屋外で体を動かしたいという願望が強かったため人数が増えたということが想定される。

○コロナ禍で公園利用がかなり増えているのは全国的な傾向である。屋外空間の活動ということで、段々定着していけば良いと思う。

○11月については、NPOの会員の子供が参加することがあるので、知り合いの家族に気分転換にいかがですかと案内したら2~3家族の参加があった。次回も参加の案内を呼びかけている状況である。

■協議事項

1) 信太5号線に関わる整備計画について

○信太5号線の横断歩道が付く予定のところ、ロードキル対策の柵が切れてしまう。昼間、動物は通らないが、夜間はこのあたりから、横断しそうな気がする。

どこまでの小動物を想定するのかにより変わってくるが、例えば、堀とグレーチングを組み合わせさせて整備するとか、マウンドアップして車椅子が通れる最低限度だけフラットにするなど、そこは公園サイド側で検討する必要がある。

○公園の進入部分についても同じ対策がいるのではないかということである。

→今後検討する。

○ロードキル対策については、工事期間中の対策をどう考えるのか考えておかなければならない。

工事期間中も仮設的に移動を確保できるようなことを考えながら工事するのか。期間が長期に及ぶので検討をお願いします。

○車道は黒のアスファルトで舗装されるが、歩道の色は変わるのか、歩道も基本的にアスファルト舗装か。

→歩道もアスファルト舗装が基本の計画です。

○この道路全体がベンガラ色のような舗装にし、公園内道路なのでスピード出さないでくださいという表示になればと思う。それが難しければ、歩道だけでもベンガラ色にしてはどうかと思う。通学路にもなっているので、安全に快適に移動できるのであれば、また、高額にならないのであれば、歩道の舗装面の色も考えていただければと思う。

○車道部は、保水性より騒音対策、天動音、タイヤの音を吸収するためにはポーラスな舗装が好ましいと思うが、方針は決まっているのか。

→信太5号線は基本的には密粒のアスファルトコンクリートを計画している。騒音性の観点からいくと、ポーラスアスファルトの方が有利になるが、コストや路線に求められる機能などを総合的に判断し、決定することになる。

○コストの問題とせっかくポーラスにしても目詰まりを起こし、効果が継続しない2つの問題がある。色んなことを考えると、地下浸透機能をもつ舗装にすべき時代がきている。

コストの関係もあるだろうが、野生生物の生息も考えると、低騒音舗装が良いだろう

→そのあたりは、交通量も含めて検討する。

○生きもの横断管は実績のある設計か。管も含めて水没してしまうように思うが、そこは構わないのか。

○横断管に土や枯葉がたまった時には定期的に清掃しないと通路確保できないような構造になっていないか。他の事例の実績が重要になってくると思う。

→他の事例も調べたが、小動物に対応した事例は少ないが、それを参考にしながら検討を進めている。雨天時には水没する時もあると思う。雨をできるだけ活用できるように、水を引き込みながら設計している。雨が降れば水没も出てくるし、定期的な土砂の管理もついてまわる。

→両方がくぼんでいると水没するが、地形的に横断管は傾斜があり、片方から水がぬけていく形になっているので、水没していくことはない。

また、落ち葉は集まりやすく、管のなかに落ち葉が入っていくと管理が大変になるので、入口には荒い柵をつけた方がよいといわれている。落ち葉止め以外にもカスミサンショウウオ等の小動物の捕食動物が管のなかで待ち構えることも防げる。

○土砂の流入について避けたいことがあるが、荒い柵などは直径が3cmなので、土が詰まることはないと思う。3cmあると定期的に清掃は簡単だと思うので、維持管理を丁寧にやってもら

いたい。

○横断管は造る以上、目詰まりしないよう維持管理の機具がいると思うので考えておいてほしい。すぐにはいらないだろうが、考えたことを意識しておいて、定期的に掃除することを意識してほしい。

あと、西側と東側の歩道ができる道のずれがなぜあるのかを話していたと思う。

→対面にずれが出ないようにする。

○信太5号線沿道の景観イメージだが、今日は西側の話なので、東側は今後検討だと思う。その際、配慮してほしいことは、新しい道路には歩道ができるが、広い歩道でないので街路樹は植えない。

街路樹機能をもった並木のようなものが公園側で整備してあげられないかと思う。現状はフェンスがあってゴミを捨てられないようにフェンスの内側を草刈りしているようなことだが、もっと違う形を考えてください。

新しい道と古い道との間にできるスペースは、単純に植栽の木が適当に配置されている状況である。歩道はあるが、実際には公園の中を歩くのではないかというおもしろい空間づくりが期待される。そういう通り抜け空間への配慮がほしいと思う。

○東側はまだ検討が進んでいないと思うが、現道を整備した箇所は木一本もない。また、現況林でもない。図面が不正確である。

今後、歩道の公園側の植栽計画をどうするのか。街路樹的にするにはそういう植栽を考えないといけない。

○草原に新規植栽を入れているが、あのイメージなのか。もっと二次草原が広がっているので樹木景観は道路沿いはいるだろうが、内部はいらないと思う。二次草原の景観のづくりの議論をしているのか。

→全く議論していない。

○二次草原の再生を目的として活動しているので、二次草原の中にどれくらいの樹木密度で植栽するかを事業・計画ミーティングやや保全活動ミーティングで議論してください。

○草原の中央部分に横断管との関係で意識的に緑を残しているが、賛否両論あると思う。草原の端から端まで見通せるスケールメリットを出そうとする方がよいかもしれないので、再考したほうがいい。

○今回の資料は、現況林の活用とある一定新規植栽が入るというイメージがあるということで、一旦理解してください。保全活動に積極的に取り組み大事にしている二次草原の再生エリアなので、植栽計画は議論してください。駐車場のあたりなどの植栽計画の価値観が違っていると考えてください。

○ホームページでも広報が始まっていると聞いたが、どういうキーワードで入れればいいのか。どのくらいの情報が盛り込まれているのかお伺いしたい。

→ホームページですが、「和泉市信太山」で確認できる。情報内容は、保全活動日記と総会や企画運会議の資料と議事録が公開されている。基本構想やワークショップも閲覧できる。

○早速拝見する。一般市民に広報を展開していく時期になっていると思う。一般市民の視点からはロードキルなどに興味がなくて、こういう資料は仲間うちでは有効な資料だと思う。一般市民に対して「こんな公園イメージができていよ」と言わないといけない時期にきていると思う。

○次の協議事項であるPRプログラムの中で暫定利用に向けて、一般市民にどう情報発信していくのか、また、どういうプログラムを提供していくのか、次の議題で議論をすすめる必要がある。

○昨日、野外活動センターでゴミ拾いがあった。見えないようなところにゴミが捨てられている。ここでもそういうことがないか心配な部分がある。

安全上の問題で、車の速度を抑制する対策を考えてください。片側のみフェンスを設置するのであれば、反対側に対して車が突っ込んだ時にどう人を守るのか、大丈夫なのかと思う。

○歩道のない方は車道帯に人止め柵、歩道のある方に対しても歩道と車道の間にはガードパイプが入る。速度の問題と人止め柵、不法投棄との関係についてはどうでしょうか。

→供用開始に向けて、速度の関係は警察と協議するが、現状は30km、これは残るだろう。横断歩道を設置することも協議にあげているので、設置する場合は、速度の抑制対策を合わせて検討している。

道路を整備するにあたり、人止め柵には設置基準があり、防護柵は歩行者を防護するという目的で設置する。東側で設置するところは30cmの段差があるので、何等かの警戒対策が必要で、30cmの高さでいくと転落防止柵という施設になるが、道路としては必要ない。

車両が逸脱した時の公園側の安全対策としては、当該路線については設置する必要がないと考えている。

信太5号線はカーブなので、曲線部は視線誘導境のような施設を道路側で設置していく。

○不法投棄については、軽トラの上から捨てるので、かなり高い防護柵をしないと効果を発揮しない。むしろ沿道が草刈りされて管理されているところは投棄されにくい。3mを超える柵で防護するよりきっちりと沿道の環境を整序しておくほうが効果が高いと思う。堺の南部丘陵でもそういう議論をしている。

不法投棄が多いという問題があるので、抑制策を考えてください。柵で物理的に守るのは難しい。

○不法投棄については、防犯カメラを1台2台つけておくと、抑止力になると思う。

○これまでの不法投棄を見ますと、軽トラックで乗ってきて捨てる。フェンスをしていないと弁当のカラを捨てたりする人もいますので、西側については抑止力がある柵を設置してほしい。現状は、車道があり 1mの柵があり仕切られているので、あいているところに不法投棄する。北側と南側の入口に捨てられることが多い。不法投棄を抑制する意味でフェンスを造ってほしい。

○西側につけるとすると道路事業でなく公園事業だと思う。2通りの考え方がある。1mくらいのネットフェンスをずっと回すのが良いのか、きれいに植栽管理されていると不法投棄されにくいという社会現象があるので、どちらを選択するのかということに対して、事業・計画ミーティングで議論してください。

○整った環境には不法投棄はおこらない、格の高い地域となることを期待している。お互いの調和を考えながら議論が具体的に進んでいくことを願います。

○人止め柵をつける場合、高さを 1.2mにするのか、動物を排除するために 30 cmの段差をつけている。実態として車道を歩いている子どもがそのロープで足をひっかけたり、首をひっかけたりと管理瑕疵を問われるようなことが気になる。段差がついているところの直近に建てるのはまずいだろうし、景観の話や不法投棄の話も含めて最終的につけるとなると、設置の位置や高さについては慎重に検討ください。

2) (仮称) 環境保全活動PRプログラム(案)について

○暫定利用について、西側エリアは自由散策ができて東側エリアが許可制度となると、その許可制度の申込みの書式があるならばホームページを立ち上げないといけないと思う。

その際、会議録でなく、現状の計画プランはどうなっているのか、具体的な活動紹介と市民が参画できるプログラムの頁があって、そこから申込ができるなど、本格的に考えないといけない。暫定利用といっているが、自然観察会のプラスワンのPR活動くらいでは収まらないと思う。来年の初夏に正式に市民に対して暫定利用とするのであれば、公園課は暫定利用の準備を考えているのか、この状況では時間がなく来年の初夏には暫定利用ができないと思う。

→暫定利用や自由参加の程度にもよるが、事業・計画ミーティングや保全活動ミーティングで議論している中ではイベントプラスワンくらいの周知も含めた規模くらいになると進めている状況である。但しもっと広く市民に周知してイベントのような形で集まっただけにするのであれば申込みの方法も考えていくが、今の段階では到達できないと思っている。

○北東エリア、南西エリアの暫定利用の開始は 2021 年で、北東エリアが許可制なら南西エリアは自由散策であるということをここで議論してきて、西側エリアの許可制でない利用をどういうふうに暫定利用を実現していくのか。それがこれまでの 2 回の自然観察会プラスひとつ市民を

受け入れるためのプログラム展開が暫定利用であるというのは、おかしいような気がする。
北東エリアの許可制をどう実現するのか、西エリアの自由散策は当然保全活動にしている草原には入ってもらいたくないだろうから、この道は健康づくりや自然観察しながら歩いてほしいが、その実現はいつ頃を目標にしていくのかももう少し考えておく必要がある。
暫定利用の場所や利用方法、暫定利用のための施設があるが、これらを実現化しないと暫定利用がスタートしましたということをも市民に向けて言えないのではないかと。

○今は言えるように頑張って準備しましょうとしか言いようがない状況です。公式に都市公園として開園するのは先のことなので、現場で活動している人間にとって遠すぎる。もうちょっとすぐが、我々の目標かつモチベーションなので暫定利用を実現させましょうということで動いている。

○2026年は先なので、2021年の初夏の暫定利用にむけてPRイベントをするのは大事なので、今日議論した内容を具体的にどう実現していくのかを市も覚悟をしてください。真剣に取り組まないと、絵にかいているが実現できないことにならないようにしてください。

○暫定利用について、公園の近隣の住民の人の意見は集めているのか。どんな気持ちで期待して待っているのか、全然待っていないのか、知らないのか、テスト運用するには貴重な意見が出てきそうな気がするが、どうなっているのか。どんな情報があがっているのか。

○具体的に意見を集めているとかアンケートを取っているということはない。活動している方のモチベーションのために始めようとしているが、細かいところまでは考えられていないのが実情なので中身を詰めていかなければならない。

○年度内にもう1度この会議があるので、初夏にむけて来年4月からどんな行動をとっていくのか、情報発信も含めて、初夏からの暫定利用の実現に向けて議論をつめてください。

○議論を詰めていこうとする雰囲気が出てこない、地域から出ている人が情報収集や保全活動も含めて地域に拡げていけるかどうか決断しにくいと思う。参加している方は、どうしたらいいのか居心地の悪さを感じているのではないかと思う。

○確認したいのが、暫定利用の施設「ア」から「カ」までであるが、「ア 仮設駐車場」と「レンタルトイレ」は市が設置するというので、夏までに整備するというので良いか。

→仮設駐車場の拡大は今年度内で、設計はこれからだが進めていく。

仮設のレンタルトイレの常設については来年度の予算で要望をしているが、結果が出ていないので、予算がつけばレンタルトイレを設置していくことを考えている

○将来どうなるのかをホームページで簡単に分かり易く見て頂くものを取り組んでいくほうが優先度は高いと思う。完全なものを求めて進捗が遅くなっていくより、確実にやるべきことを6月

までや 10 月までにはこれをやるという感じで一歩ずつ着実に利用の度合いを高めていけるよう、情報公開を進めてください。

○5 月中に暫定利用の開始だと思っていたが、東エリアについてもロープ柵を入れたり、手を入れる必要が出てきている、そこまでやれるのか。

許可制については、今までならば、協議会の団体の関係が許可を申請して入ると限定されていた。ホームページでPRするなら、条件はどうなるのか。希少植物があるので、むやみに入ってもらっては困る。許可の意味が気になる。

また、西側エリアは、来年初夏に暫定利用開始なので実現してもらいたいが、遺物が出たので本格的に活動拠点予定地のところも全面剥いで調べないといけないとかの話聞いた。その際、入口はどこになるのか。再来年度の工事が本格的に始まるとメイン道路が通る。その工事が入ってくるので、暫定利用の企画がこの1年でなくならないように考えてください。

○事務局は、タイムスケジュールをきっちりたてて、どういう項目、情報発信から許可制にするなら公募の仕組みから、プログラム提供の形からどう展開するのか、それに伴いハードの整備をどういうスケジュールでしないと受入れられないのかということをきっちり詰めて、次回の年度末の会議で議論してみる必要があると思う。

西側エリアは、来年度暫定利用が実現できても、東側エリアは貴重な湿地があるのでもう少し先になるという認識でよいのかどうか、議論して詰めてください。

分かりやすい情報発信の仕組みをそろそろ本格的に考え出さないといけない時期にきている。

議事録として市のホームページに全てのデータが公開されていてもアクセスしにくい。

開園できなくても暫定利用をして市民に広く知ってもらおう活動がモチベーションの維持に繋がるといってご指摘もあるので考えてください。